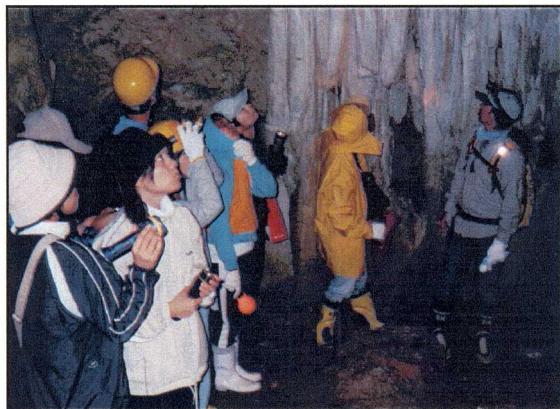


# はくぶつかんネット

第20号

~ GINOWAN MUSEUM ~



↑ 昨年の見学会の様子。今年もお楽しみに！！

2004年

10～12月

3ヶ月に1回発行

(次号は 1月15日)

発行:宜野湾市立博物館

〈TEL〉098-870-9317

〈FAX〉098-870-9316

〈HP〉<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

〈HP〉<http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

★ 平成16年度 第2回 講演会 ★

## 宜野湾市の洞窟めぐり No.4

～洞窟と人間との関わり～

講 師：新垣 義夫（普天満宮宮司・博物館協議会会長）

◆ 期 日：2004年11月13日(土) ◆

午後1時～午後5時

◆ 見学場所：クマイアブ（字宜野湾）他、市内の洞窟数ヶ所 ◆  
博物館に集合して、バスにて移動



博物館 イメージキャラクター

察度くんと天女ちゃん

★定員：20名（小学4年生以上）

※小学4～6年生の場合は、親子1組で申し込みください。

但し、人数に限りがあるため、受付は1家族2名までとなります。

洞窟内に実際に入るので、体力に自信のない方はご遠慮ください。



★要申し込み

2004年 10月3日(日)～10月31日(日) 午後5時まで、電話にて受け付けます。

※申込み多数の場合は抽選。

市内在住・在勤・在学者及び、初回参加者が優先となります。ご了承ください。

★雨天の場合は、博物館にて講演会に変更します。その際には申込みされていない方も参加できます。

★当日は、保険料150円・汚れてもよく動きやすい服装（長そで・長ズボンなど）・帽子（できればヘルメット）・すべりにくく汚れてもいい靴（雨靴など）・軍手・懐中電灯・水筒・雨具持参で、ご参加ください。

博物館の問い合わせ先：098-870-9317

◎平成16年度 第1回企画展の報告

## ■ “世界のお金展” たいへん好評でした！！

宜野湾市立博物館 開館5周年記念事業としまして、8月8日(日)から9月5日(日)まで、「世界のお金展～世界最古の貨幣から現在まで～ 翁長良明氏古銭収集50年間のあゆみ(協賛)」を開催しました。

開館当初からの協力者で、古銭収集家の翁長良明氏の協賛により、文字通り世界のお金を2,619名の方々に見てもらうことが出来ました。

約1万点の資料を前に、「B円・ドルなど懐かしい」、「これもお金なの？！」とびっくり、「いろんなお金を見て楽しかった」、「各国のお金を見るとその国のが、少し分かった気がして、嬉しかった」等々、たくさんの思いが沸き起こる内容の感想が聞かれ、皆さんとても満足していました。

過去から現在にわたる世界の「多種多様」の貨幣。日本では20年ぶり、来る11月1日に、1万・5千・千円札が新しくなります。皆さんも展示会と新紙幣発行をキッカケに、古銭の収集を始めてみてはいかがでしょうか？



▲ 古銭収集家の翁長良明氏



▲ お金は、世代を超えます

◎平成16年度 わらばー体験じゅく & 講演会の報告

## ■ “大山でターンムの植付を体験しました”



▲ 組合の宮城徳康さんから説明を受けている所



▲ 植付け体験の様子  
泥に足を取られつつ楽しんで植付けました

去る9月18日(土)に、大山のターンム畠で「ターンムの植付」体験をしました。

参加者は、わらばー体験じゅくの小学生と、講習会参加の大人数合わせて約50名でした。小学5年生から成人までと幅広い年齢層で、世代交流も兼ねることが出来ました。また、大山田芋生産組合の農家の方々から、直接お話しと指導を受けることが出来て、参加者はとても喜んでいました。

ターンムのこと、ターンム畠のこと、植付や生産農家のことなど、泥に足を取られながら約2時間の植付を体験しました。

参加者からは、「1歩ずつ頑張った」、「ターンムを植えている人の苦労さが分かった」、「大変さやいい所を知り、今後は感謝して食しようと思った」、「昔からの大山ターンム畠を残してほしい」、「地元の特産品に触れることができ、良かった。」などの感想が聞かれました。

宜野湾市の特産であるターンムについて、肌で理解を深めることが出来たと思います。

12月には同じメンバーで、正月用の「ターンムの収穫」を予定しています！ちなみに今回植付けたターンムは、来年の清明祭の頃に、再会できる力モしれません。

「宜野湾市の文化財図画作品展」の報告

## “第13回 宜野湾市の文化財図画作品展” 今年も、すばらしい 作品ばかりでした！



▲ 教育長からの表彰状授与の様子

9月25日(土)～10月10日(日)までの約2週間、「第13回 宜野湾市の文化財図画作品展」を開催しました。

これは毎年恒例で行っている企画事業で、市内在の小学3年生から中学生に、夏休みの自由課題で描いてもらった、市内の文化財図画作品を、各小・中学校の美術や図工担当の先生方に審査してもらい、入賞以上の作品を展示するという内容です。

今年も例年同様にすばらしい作品が多く、9月25日には小学校中学年(3・4年生)の部、小学校高学年(5・6年生)の部、中学生の部の部門ごとに選出した、教育長賞(1名)・金賞

(2名)・銀賞(5名)・銅賞(10名)の受賞者54名の表彰式を行いました。受賞者やその家族が集まり、盛大な表彰式となりました。また、今回は博物館開館5周年記念事業の一環として、今年度の入賞以上の作品193点とともに、歴代の教育長賞と金賞作品36点も同時に展示し、好評を得ました。

この企画事業は、宜野湾市の次代を担う児童生徒に、急速な時代の変化の中でかろうじて残されている、市内の有形・無形の文化財や、古い宜野湾市の風景・風俗を題材に図画作品を描いてもらうことによって、文化財保護の精神を培い、かつ愛郷心を育み、豊かな表現力を養うことを目的として行われています。今年は羽衣伝説や、大山綱引きのワラ打ち、宜野湾闘牛など、これまでにあまり対象とされていなかったユニークな作品が多く出品されていました。宜野湾市には、これまでに描かれていない文化財が、まだまだたくさんありますので、来年はもっといろいろな文化財に目を向けてもらえると、より有意義な催しになるのではないかと思います。

常設展示室のご案内

### ◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：2004年 11月24日～2005年 1月31日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えを予定しています。

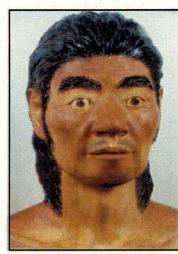
今回は嘉数区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方と、小学生の顔写真を十数名分展示します。この展示は2004年11月24日(水)～2005年1月31日(月)までの予定です。

『宜野湾人の顔』は、現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示がある エントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

次回は、野嵩2区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ 安座間原人

## ★どの花みても、きれいだなあ♪ ~世界のお金展より~

先の企画展「世界のお金展」をご覧になった方は、ご存じだと思いますが、世界には色んなお金がありましたね。

お金は人類の2大発明の一つです。もう一つは文字。「力ネという価値」を生んだ人間の精神はスゴイですね。だからでしょうか。どんなにヘンテコリンな形でも、人はお金だと大切に見つめます。かくいう私も。変なお金は捨てよう!とは露にも思いません。「お金がキレイな人はいません。」協賛の翁長良明さんの言葉通りでしょう。



ところで今回のチラシ、色々なお金の背景に赤・白・黄色のチューリップが描いてありました。「何でお金に花?」と、だ~れも、な~んにも触れないで、気付かなかったかも…。実は、「どの花みてもきれいだな」の歌と、無条件にお金を大事にしようとする想いを、半ば強引に結びつけた結果。今風だと「もともと特別なオンリー・ワン」といったところでしょうか。お金であれば大事にするように、それを使う「人」も無条件に大事にしたいものですね。(知念)

## ★語り継がれる年中行事

沖縄県には様々な年中行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習があります。今回は、旧暦の12月に行われる行事の中から、いくつか触れてみたいと思います。

### ☆旧12月8日：ムーチー <鬼餅>

餅をサンニンの葉に包んで蒸し、神仏に供えてから食べる行事で、子どもの健康を願う家庭行事です。子どものいる家庭では、その年の数だけヒモで結わえてつるし、子ども達に抜き取って食べさせます。また、赤ちゃんが誕生して最初に迎えるムーチーをハチムーチーと言い、親戚や友人に配る習慣があります。

この頃になるとムーチービーサと言い、本格的に寒くなっていきます。

### ○旧12月29日(30日)：トウシヌユール <年の夜>



#### ▲ トウシトウイユーバン (年取り夕飯)

白ごはん・肉汁・チム・豆腐・昆布・  
三枚肉・里芋・ヒル (ニンニクの葉)

大晦日のことをトウシヌユールと言います。各家庭では、この日までに一年の家事の締めくくりと、正月準備を整え新年を迎えます。

火の神や仏壇に食事とヒルの茎を供え、拝んだ後ウサンデーしました。この日の夕飯のことを、トウシトウイユーバン(年取り夕飯)と言い、普段よりも遅い時間に食べ、遅くまで起きています。また、年の夜は家族全員が揃うべきであると言われ、たとえ放蕩者であろうと大盗人であろうと、この日ばかりは家へ帰ってくると言う話もあります。

新しい年を迎える喜びは、今も昔も変わりませんね。

以上のような行事の他にも、様々な行事が市内でも行われていますが、今では行われていない行事もあるかと思われます。そのような行事も後世まで伝えて行ければと思いますので、「あのときはこんな行事があつて、こんなだったさあ。」等のお話がある方、または冠婚葬祭についてのお話がある方、ぜひ一度、博物館までご連絡ください。(大城)

入館料免除・資料館外貸出の申請について

## ○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行なうことができます。

申請書の手續はそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の遅くとも、1週間前までに申請してください。

### ■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。



### ■主な貸出資料

- 収蔵品
- ビデオ
- 写真

## ～あなたの家に、眠っていませんか？～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

隨時、資料の収集を行っておりますので、「こんなのがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

## 「博物館ガイドブック」について

平成15年度に、「博物館ガイドブック」を発行致しました。

主な内容は、常設展示室の展示解説や、博物館見学と移動展の案内です。  
冊数に限りがありますので、市内の学校や自治会、県内の博物館や図書館を中心に配布しています。ご覧になりたい方は、博物館までご来館ください。



## ～市立博物館のロビーにて、証明書の交付を行っています～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館のロビーに設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

### ★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰靈の日、年末年始は休みです。

※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。

- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。

- 3) 戸籍や身分証明書などは交付できません。

# 平成16年度の事業あんない

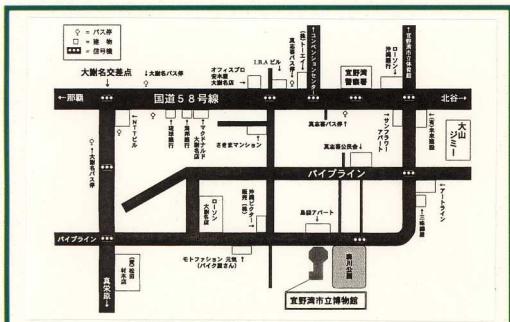
2004年4月～2005年3月

月	日	曜日	内 容	期 間
6	19	土	第5期 わらば一体験じゅく募集 (詳細は申込用紙を参照してください) ○定員:35名 / 対象:市内在住・在学の小学5・6年生 / 保険料徴収 <b>※要申込</b>	※定員に達したら締切 期間:6月～来年2月の 毎月第3土曜日
11	13	土	見学会「宜野湾市の洞窟めぐり No.4」 ○定員:20名 / 対象あり / 保険料徴収 / <b>※要申込</b>	申込みや日程など ネット1ページを 参照してください
2	20	日	企画展「なつかしの宜野湾～食と冠婚葬祭～(仮称)」	3月20日(日)まで <b>※入場無料</b>

**※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。**

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、  
はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

## ◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

### ◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の  
午前9時～午後5時



※ 入館は午後4時30分まで

### ◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰靈の日(6月23日)、  
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜  
日は、休館日となります。

### ◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホームページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

ホームページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

## ★ 博物館のホームページを開いてみよう！

博物館では、ホームページを開設しています。主な内容は博物館案内、行事の最新情報、はくぶつかんネットのバックナンバー、わらば一体験じゅくの情報などがあります。ホームページ上では、第1号から最新号まで、はくぶつかんネットをカラーで見ることができますよ。

いろいろな情報を得ることができますので、まずは開いてみてくださいね。

◎ホームページアドレス → <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>